

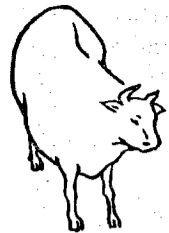


# かたひがし

昭和48年1月1日  
第125号  
発行 新潟県西蒲原郡湯東村  
印刷 北洋印刷株式会社

### <村の人口>

総人口 6,534人  
男 3,186人  
女 3,348人  
世帯数 1,199  
47年11月30日現在



新年

あけまして

おめでと〜ございます



すくすくと伸びよ  
元気にほがらかに!!

のんだらのるな のるならのむな!!

## 新年の御挨拶

湯東村長 小泉 充

謹んで新年のお祝いを申し上げます。過ぎし昭和四十七年はほんとに忙しい年でございまして。三月の村議会議員選挙に始まり、北陸高速自動車道、上越新幹線、広域農道等々一九七〇年代の変革を迎える大波が一挙に打ち寄せる如きでした。米づくり一本では到底生活でき得ぬ村の現況、農閑期を待たずして農外収入を求めて出稼ぎに行かなければならぬ。実態をみるにつけ、一日も早くこの問題を解決せねばならぬ。と云う気持ちで、熊り、過去の失敗から見て、一時の対象療法では根本治療に至らぬ日本列島公論

と結論づけざるを得なかつた訳であります。湯東村の産業構造はあくまでも農業を主体とし、補完的立場から工業を導入しようとする事であり、遠くへ行くより、日暮は困るので、早く村内に工場誘致を、と云う事は切実な訴えとしてよく承知致しております。然し今ここで現象のみにとらわれて無差別に工場の進出を許したらどうなるか、これは公害、バロマキ論を肯定する事になるのです。現に湯東村に工場進出の希望が数社に及んで申出がございまして、私はいづみも申上げる様に、農業を主軸として足らざるを補う意味に於て工業を導入したい、だから庇を貸して母家注意と云う気持ちであります。この様な前提に於て企業の進出を企てる以上、来る(企業進出)ものを拒まず、であつてはなりません。湯東村の将来を左右する重大事でもあり、住民との対話を重ねながら将来に悔なき実施計画を策定する必要があります。これを始めとして、広く住民意志の最大公約数を求め、計

画は慎重に実施は早急に、実施計画を決定させて戴きたいと存じております。特にこれ等の事業を推進するために一番大切なことは土地の確保であります。理想的な設計図をたてても、理想の材料として土地買占等が行なわれた場合、総ての計画は画壁に期す恐れなしとから湯東村が米づくり一本では生活出来ない、安定した収入を得るためにどうしようも労働集約型の企業誘致を力んでみて、土地所有者の理解なくしてはこの目的は達成できません。一文高であれば人を問はずであつては、秩序ある発展は望むべくもありません。いろいろ条件が具備して成否が決定づけられます。村もこの事が一番心配の種です。十二月定期議会にはこれが為め参考資料第一号を發行し、議員を通して皆様の御理解を得る資料を發行した訳であります。内容は変革の時期を迎える村の体制づくり、工場進出に対する事頂張ります。皆さんからも頭張りの御指示、御協力をお願い申し上げます。新年の御挨拶と致します。

## 長期総合開発計画

(基本構想) (7)

(カ) 燃料(ガス) した現時点では、天然ガスの使用量は減少し、それに代わってプロパンガスおよび石油の使用が増加している。しかし、地盤沈下現象がますますおぼつかつてくる現在、天然ガスから他の燃料に全面的な転換をせざるを得ない時が到来することと考えて、プロパンガス基地の設置等、燃料について検討するものとする。

(キ) 蚊・ハエ対策 現在、蚊・ハエの駆除については、規制が行なわれて現在にいたつては、新規および、更新採掘を禁止されて数年経過

(2) 人間形成 近年における日本の科学技術の急速な革新と高度経済成長の結果、本村においても都市化の上昇と生活の生活水準の急激な進み、今後この趨勢は伸長するものと予測されるが、文化の香りただよう村づくりをめぐり、た湯東村として、学校教育、社会教育はこれまで特に重点施策としてきており、今後最大限に力をそそがねばならない施策の分野である。ここで忘れてならないものは、住民生活の近代

化、高度化には人間性の高揚を伴わなければならないことである。物質文明の進化にのみ満足し、ヒューマンテイの高揚に努めなければ決して幸福な「健康で文化の香りただ湯東村」は築き得ない。特に学校教育の振興も社会教育の充実もその根底には郷土を理解し、真に郷土を愛する子女を育成する理念が貫いておらねばならぬことである。情性で居住しているのではなく、村の過去現在を理解した上で、なお明るい将来を確信して努力する青少年を育成し、村民の人格形成にもあずかる学校教育、社会教育をめざすものとする。なお、昭和四十四年に港町と共同で設置した教

昭和四十七年十二月十日執行 投票・開票結果

届出番号	候補者	得票数
一	小沢辰男	一、〇三〇
二	伊藤千穂	一七三
三	山本二郎	二〇九
四	米田東吾	八五一
五	福田三	一一一
六	高橋ちざ	一、三四三
当日有権者数		四、三九〇
投票者数		三、六八八
有効投票数		三、六三七
無効投票数		五一
投票率		八四・〇一

昭和四十七年十二月十七日執行 投票・開票結果

届出番号	候補者	得票数
一	君健男	一、三二八
二	しとま裕	八五八
三	浦沢三郎	一五六
四	佐藤次郎	四一
当日有権者数		四、三八五
投票者数		二、四〇五
有効投票数		二、三三三
無効投票数		三三
投票率		五四・八五

桶口記念美術館「あんない」

油彩 あじ 黒田清輝

まだ漏れている網から、すくいあげて皿に並べた、びちんとはぬ出しそう... 見事に描かれた「あじ」三匹。明治の中期、日本画壇に自然主義の潮流が湧き、洋画界の近代化推進の中心となつた。黒田美術の真髄をここに見る。

